




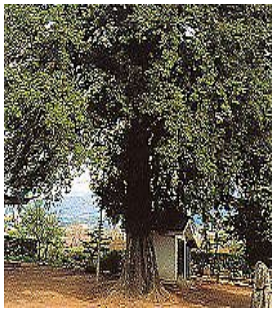




笛吹市の観光資源

番号	名称と内容	その他資料
＜歴史・文化的資源＞		
01	<p>■木造虚空蔵菩薩坐像 笛吹市境川町藤袋322 種別：彫刻 員数：1躯 構造及び形式：寄木造彫眼像高65cm 所有者：智光寺 指定年月日：S. 44. 11. 20 甲斐3虚空蔵のうちの1体で、一般的には、智恵満虚空蔵と呼ばれている。鎌倉中期の建長6年(1254)の作とされており、宝髪の高さや文様などは、いかにもその時代の様式を表している。藤袋の智光寺。</p>	
02	<p>■版本大般若経 笛吹市境川町大坪505 種別：書跡 員数：490巻 構造及び形式：附 紙本墨書大般若経写本110冊 絹本着色十六善神1幅 経箱大6箱、経箱小60箱 所有者：実相寺 指定年月日：S. 50. 3. 17 全600巻の内訳は版本484冊、写本110冊、版本と写経をあわせたものが6冊伝えられている。16善神の掛け軸は、鎌倉初期のもので山梨県でも屈指の仏画。大般若経の真読・転読の際には必ず掛けていたといわれている。</p>	
03	<p>■桑原家文書 笛吹市境川町寺尾3147-1 種別：古跡 員数：5通 構造及び形式：武田晴信印判状 外 折紙 所有者：桑原さき子 指定年月日：S. 58. 7. 21 当時の工芸品にとって漆は貴重な素材であった。この武田晴信印判状は「永禄3年(1560)極月17日に漆を提出せよ」という内容。この文書によって蒐集方法が解明されたという貴重な文献である。</p>	
04	<p>■智光寺のカヤ 笛吹市境川町藤袋322 種別：天然記念物 員数：- 構造及び形式：- 所有者：智光寺 指定年月日：S. 45. 10. 26 根回り35.3m、根幹の周囲6.8m、目通り幹囲5.5m、枝張り東西24.4m、南北20.3m、高さは約29mの大木で、県の天然記念物に指定されている。</p>	
05	<p>■藤袋のヤツブサウメ 笛吹市境川町藤袋161 種別：天然記念物 員数：- 構造及び形式：- 所有者：伊原和雄 指定年月日：S. 55. 9. 18 梅の変種であるザロンバイのことであり、一つの花にたくさんの実がつくことで、このような名がついている。藤袋伊原家のヤツブサウメは根回り2.57m、目通り幹囲1.44m、高さは5mあまりの大木で、花は白色の八重。</p>	

笛吹市の観光資源

番号	名称と内容	その他資料
06	<p>■宗源寺のヒダリマキカヤ 笛吹市境川町藤袋4771 種別：天然記念物 員数：－ 構造及び形式：－ 所有者：宗源寺 指定年月日：S. 45. 10. 26 根回りは3.2m、目通り幹囲は4.4m、高さは21.5m。果核の長さは3.5cmから4.5cmあまりもある大木。果核表面の筋方向はばらばらで、その比率は左巻き9%、右巻き20%、直線71%となっている。</p>	
07	<p>■地藏堂塚古墳出土蕨手刀 笛吹市境川町三柵3 種別：考古資料 員数：－ 構造及び形式：－ 所有者：笛吹市境川町 指定年月日：H. 16. 5. 6 全長41.3cm 刃長29.1cm 柄長12.2cm</p>	
08	<p>■山梨岡神社本殿 笛吹市春日居町鎮目1696番地 山梨岡神社の御祭神は、大山祇命・高おかみの神・別雷神で、平安時代の「延喜式神名帳」（907年）に記載されている甲斐国の官社20社の一つであり、武田家・徳川家と深い信仰関係があり、境内には山梨郡の要石といわれる「郡石」もある。 この神社が建てられている御室山は、両裾を長くひいた姿の美しい山で、「宮室山」とも書き、また「山梨の岡」ともいわれる、「神の宿る山」、神体山として、村民が敬虔な祈りを捧げてきた山です。 明治40年8月28日国指定重要文化財（建造物） 室町時代の末期の建築で様式は隅木入り春日造り。 大きさは桁行1間・梁間1間で屋根は柿葺き、変化に富む自由な技法に建築的な特色がある。</p>	
09	<p>■山梨岡神社太々神楽 笛吹市春日居町鎮1696番地 昭和42年8月県指定無形文化財 「武田信玄出陣の神楽」とも呼ばれ、勝利を祈願して奉納されたと言われている。 出雲神楽の系統で24種の舞が伝えられており、この内20番目の「久米舞」は「四剣の舞」とも呼ばれ4人が剣を片手に勇壮に舞う。 太々神楽は山梨岡神社春期例大祭（4月4日、5日）等で奉納される。</p>	

笛吹市の観光資源

番号	名称と内容	その他資料
10	<p>■木造五大明王像 笛吹市春日居町桑戸175-1 毎年1月28日に桑戸区民により祭典が行われています。 本来、中央に不動明王、東に降三世明王、南に軍荼利明王、西に大威徳明王、北に金剛夜叉明王と位置が決まっているが、この木造五大明王は横一列に並んでいる。檜材の一木造りにより、12世紀後半（平安時代後期）に作られた。顔は赤や青、緑色をしめており、彩色は江戸時代に施したらしい。</p> <p>平成9年6月12日県指定文化財（彫刻） 木造五大明王像は、笛吹市春日居町桑戸の「地蔵院」にあったが、天正14年（1586）に桑戸村の表鬼門に移し祭られた。5軀とも平安時代後期（12世紀後半）に檜材の一木造りにより制作され、平成13年より修復事業が開始された。</p>	
11	<p>■木造立川不動明王控像 笛吹市春日居町熊野堂135-1 毎年2月28日にお祭りが行われています。 平成14年12月9日県指定文化財（彫刻） 檜材の一木造りで総高は255cm。 両眼をいかりせ、右手に羅刹を左手に剣を</p>	
12	<p>■浅間神社摂社山宮神社本殿 笛吹市春日居町熊野堂135-1 毎年2月28日にお祭りが行われています。 山宮神社は浅間神社の摂社で、垂仁天皇8年に創建された。本殿は永禄元年(1558)に武田信玄によって再建された檜皮葺の建物で、武士の心意気を示すように彫の紋様を</p>	
13	<p>■慈眼寺本堂 笛吹市一宮町末木336 電話：0553-47-0915（慈眼寺） 国重要文化財 関連施設：慈眼寺庫裏/慈眼寺楼門 慈眼寺は真言宗の名刹。武運長久の祈願所として武田家の保護を受け伽藍が整えられたが、天正10年（1582）に織田信長の兵火により焼失。本堂は江戸時代初期の再建で、桃山様式を残している。</p>	
14	<p>■慈眼寺庫裏 笛吹市一宮町末木336 電話 0553-47-0915（慈眼寺） 国重要文化財 関連施設：慈眼寺本堂/慈眼寺楼門 慈眼寺庫裏は本堂と同時期の江戸時代初期に建てられた。僧侶の生活の場でもあったため、改変が多かったが、近年解体修理を行い、建築当初の茅葺きの姿に復元された。</p>	
15	<p>■慈眼寺楼門 笛吹市一宮町末木336 電話：0553-47-0915（慈眼寺） 国重要文化財 関連施設：慈眼寺本堂/慈眼寺庫裏 慈眼寺の入口にそびえる門は2階建ての楼門で、2階部分に銅鐘を吊している。扉の上に蛙股を並べ、牡丹・琵琶・菊・蓮の彫刻を施している。</p>	

笛吹市の観光資源

番号	名称と内容	その他資料
16	<p>■紺紙金泥般若心経 付武田晴信自筆奉納包 笛吹市一宮町一ノ宮 1 6 8 4 電話：0553-47-0900（浅間神社） 国重要文化財 関連施設：浅間神社 戦乱の続く戦国時代に、時の後奈良天皇が自ら写経し、全国に奉納した般若心経の一つ。甲斐国の場合は、国主である武田信玄に渡された後、浅間神社に奉納された。</p>	
17	<p>■甲斐国分寺跡 笛吹市一宮町国分 4 2 5-1 ほか 電話：055-265-2111（笛吹市教育委員会） 国史跡 聖武天皇によって天平13年(741)に全国に建てられた国分寺の一つ。南北300m、東西250mの範囲に七堂伽藍が配置されていた。塔跡・講堂跡などの礎石が当時の建物の壮大さを伝えている。</p>	
18	<p>■甲斐国分尼寺跡 笛吹市一宮町東原 6 4 6-1 ほか 電話：055-265-2111（笛吹市教育委員会） 国史跡 国分寺の建立は聖武天皇と光明皇后とによって進められ、女性の極楽往生を祈る国分尼寺も造られた。甲斐国分尼寺跡は国分寺跡の北側500mの位置にあり、金堂跡・講堂跡の礎石が残されている。</p>	
19	<p>■木造十一面観音菩薩立像 笛吹市一宮町竹原 1 2 6 3 県重要文化財 満願寺の本尊として伝えられてきた十一面観音立像。ケヤキの一木造りで、どっしりとした体躯に、衣紋が力強く表現されており、平安時代後期の特徴をよく現している。</p>	
20	<p>■石造地藏菩薩坐像 笛吹市一宮町北野呂 1 7 6 県重要文化財 右手に錫杖、左手に宝珠を持って坐す地藏菩薩の石像。錫杖や嵌入された百毫などは失われているが、円頂慈相の顔立ちや手指の精巧な彫り、流麗な衣紋など写実的に表現されている。鎌倉時代後期に推定されている。</p>	
21	<p>■超願寺文書 笛吹市一宮町塩田 8 1 8 電話：0553-47-1283（超願寺） 県重要文化財 天正8年(1580)織田信長と長期間にわたって争っていた本願寺との和睦が成立するが、それに不服を持つ本願寺新門主教如が、甲斐国の一方向門徒に決起を促すために送った「矢文」と呼ばれる文書。</p>	
22	<p>■広厳院文書 笛吹市一宮町金沢 2 2 7 電話：0553-47-3609（広厳院） 県重要文化財 広厳院は曹洞宗の古刹で、武田信昌から信繩、信虎、信玄、勝頼に至る5代に渡る土地寄進状のほか、江戸時代初期に至る古文書が残されている。戦国時代から江戸時代に至る甲斐国の歴史を知る重要な資料となっている。</p>	

笛吹市の観光資源

番号	名称と内容	その他資料
23	<p>■梵字法帖 笛吹市一宮町末木336 電話：0553-47-0915（慈眼寺） 県重要文化財 関連施設：慈眼寺本堂 梵字とは古代インドの言葉であるサンスクリットを文字にしたもので、それぞれが仏・菩薩を現している。梵字法帖は梵字のお手本集で江戸時代の梵字の大家澄然によって書かれている。</p>	
24	<p>■銅鐘 笛吹市一宮町金沢227 電話：0553-47-3609（広厳院） 県重要文化財 広厳院に伝わる銅鐘で、嘉暦2年(1327)に鑄造された。元は初狩（大月市）にあった妙台寺のために造られたが、江戸時代になって広厳院境内東手の金山から発掘された。</p>	
25	<p>■太刀 銘国次 笛吹市一宮町一ノ宮1684 電話：0553-47-0900（浅間神社） 県重要文化財 関連施設：浅間神社 国次は美濃国関の刀鍛冶の一派、山田関の刀工と考えられている。この太刀は武田信玄によって浅間神社へ奉納されたと伝えられている。</p>	
26	<p>■古常滑大甕支那青磁碗同染付碗皿黄瀬戸皿 笛吹市一宮町新巻480 電話：0553-47-1563 県重要文化財 昭和8年、新巻・天神社の境内から発掘された。古常滑の大甕の中に中国青磁碗6点、染付碗2点、染付皿10点、黄瀬戸皿20点が納められていた。中世に塩田長者と呼ばれた降矢対馬守との関連がうかがわれる。</p>	
27	<p>■古瀬戸瓶 古常滑大甕 笛吹市一宮町東原99 電話：055-265-2111（笛吹市教育委員会） 県重要文化財 昭和36年、一宮町金田地内で農作業中に偶然発見された。古瀬戸瓶子の上に古常滑大甕が伏せるようにして置かれていたとい</p>	
28	<p>■太刀 銘一徳齊助則 笛吹市一宮町中尾1331 電話：0553-47-1056 県重要文化財 一徳齊は本名田村義事と言い、一宮町中尾神社の神官であった。神官の職務の合間に日本刀の鍛錬を行っていた。この太刀は明治23年11月63歳の時の作で、浅間神社に奉納した太刀とともに翌年の内国剣覧会に出</p>	
29	<p>■刺繍法華経 笛吹市一宮町末木336 電話：0553-47-0915（慈眼寺） 県重要文化財 関連施設：慈眼寺本堂 刺繍法華経は特殊な技巧や装飾を施した装飾経の一種で、薄く縫った絹の布を地にして、紺糸で経文を一字一字丁寧に刺繍し、特に「佛」の字は金糸で表している。中国の元時代の至正21年(1361)に製作された。</p>	

笛吹市の観光資源

番号	名称と内容	その他資料
30	<p>■刀剣 銘広重 附衛府太刀拵 笛吹市一宮町南野呂176 県重要文化財 三枝守俊が寛文6年(1666)に祖先を祀る大宮神社に奉納した太刀である。外装は公家用の衛府太刀拵となっている。刀工の因幡守猪広重は武蔵下原鍛冶の一員で、当時は下原鍛冶の総帥の地位にあり江戸神田鍛冶町に居住していた。</p>	
31	<p>■紙本着色星曼荼羅 笛吹市一宮町末木336 県重要文化財 密教の星供(星祭り)の本尊に用いられた曼荼羅。正式には北斗曼荼羅という。慈眼寺の星曼荼羅は星宿諸尊を方形に配置した方曼荼羅で、釈迦金輪を中心として北斗七星諸尊、九曜星諸尊、十二宮諸星宿、二十八宿諸尊を配置している。</p>	
32	<p>■経塚古墳 笛吹市一宮町国分425-1ほか 電話: 0553-47-2805 (山梨県金川の森管理事務所) 県史跡 七世紀初頭に築造されたと考えられる横穴式石室を持つ古墳。墳丘の裾を巡る外護列石が八角形を呈している。八角形古墳は古墳時代の終末期に現れ、天皇陵を中心に全国に十例ほどしかない。経塚古墳は中部地方唯一の八角形古墳である。</p>	
33	<p>■夫婦梅 笛吹市一宮町一ノ宮1684 電話: 0553-47-0900 (浅間神社) 県天然記念物 関連施設: 浅間神社 夫婦梅は浅間神社本殿北側にあり、ひとつの花から二つの実を結ぶ。祭神の御神徳により子授けの靈験があると伝えられ、参拝祈願して梅の実を請うものがある。神社では毎年旧暦4月の第2亥の日に梅折の神事</p>	
34	<p>■御供田(ごこうだ) 笛吹市一宮町東新居 電話: 055-265-2111 (笛吹市教委供委員会) 県民俗文化財 山宮神社の鳥居前にあり、神に供える米を生産していた。一坪ほどの棚田36枚から成り、3俵ほどの米をとることができたという。現在は果樹畑になっている。</p>	
35	<p>■ルミエール旧地下発酵槽 笛吹市一宮町南野呂624 電話: 0553-47-0207 (株式会社ルミエール) 国登録文化財 明治34年(1901)に造られた日本初のヨーロッパ形地下ワイン発酵槽。花崗岩を高い精度で積み上げた長方形の発酵槽を、10基横並びに造って前面を地下通路でつないで</p>	

笛吹市の観光資源

番号	名称と内容	その他資料
36	<p>■土偶 笛吹市一宮町千米寺764 電話：0553-47-3333（釈迦堂遺跡博物館） 開館時間：午前9時～午後4時30分 国重要文化財 関連施設：釈迦堂遺跡博物館 釈迦堂遺跡群は一宮町から勝沼町にまたがる縄文時代を中心とした遺跡。中央自動車道の建設に伴って発掘され、1116個体の土偶が出土した。縄文時代の精神世界を探るうえで貴重な資料である。</p>	
37	<p>■木造大物主神立像 笛吹市御坂町二之宮1450-1 美和神社 電話：055-265-2111（笛吹市教育委員会） 国指定重要文化財（彫刻）・未公開 藤原初期の気品ある木彫。素材は楠、身長130.6cm。冠をいただき唐様の服装の袖を前に合わせての拱手持笏の姿。全国でも神像は極めて少ない。神に祀らんとする人物に品格と慈愛を象徴する魂をこめて写實的に</p>	
38	<p>■板絵着色三十六歌仙図 笛吹市御坂町二之宮1450-1 美和神社 電話：055-265-2111（笛吹市教育委員会） 県指定文化財（絵画） 永禄6年（1563）、武田信玄・義信父子の連名で寄進した板絵着色三十六歌仙図。武田父子は必勝祈願と子孫繁栄を祈願して和歌を挿入。筆者は沼津貞十郎申与である</p>	
39	<p>■美和神社の太々神楽 笛吹市御坂町二之宮1450-1 美和神社 電話：055-265-2111（笛吹市教育委員会） 県指定文化財（無形民俗） 別名神代神楽とも呼ばれ、その起源は元禄年間（1688～1703）のはじめともいわれる。舞は二十五座で、中でも代表的なものに「大八州の舞」「天降りの舞」がある。これは日本の建国を物語る古事記神話を表している。</p>	
40	<p>■白糸威褌取鎧（残欠） 笛吹市御坂町二之宮1450-1 美和神社 電話：055-265-2111（笛吹市教育委員会） 県指定重要文化財（工芸） 南北朝時代の制作で、ほとんど残存していない中世大鎧の中でも精巧緻な制作であり、当時の守護、守護代など最も身分の高い武将の着領と推定される。惜しくも兜と袖を失っているが、制作当初の形式特徴を良く保存し、技術的、工学的な価値は極めて高い。</p>	
41	<p>■朱礼紅糸素懸威胴丸佩楯付〈一領〉 笛吹市御坂町二之宮1450-1 美和神社 電話：055-265-2111（笛吹市教育委員会） 県指定重要文化財（工芸） 中世の胴丸と近世の当世具足との折衷形式が見られる。中世から近世への過渡期の甲冑の一典型を示し価値は高い。やや小型なことから、初着の甲冑と推定され、古くから武田信玄の元服鎧と伝えられ、宝物帳には永禄9年（1566）11日武田信玄の社納とある</p>	

笛吹市の観光資源

番号	名称と内容	その他資料
42	<p>■木造吉祥天女座像と二天立像 笛吹市御坂町大野寺 2019-2 福光園寺 電話：055-265-2111（笛吹市教育委員会） 国指定重要文化財（彫刻） 寺記に運慶作と伝う。胎内銘によれば寛喜3年（1231）中興第三世良賢を大勸進とし、三枝一族、橋一族を中心に大仏師運慶によって刻まれた。吉祥天女は授福の仏として大衆信仰を集めた。豊麗な面相、弾力的両肩の張りなど堂々たる体軀とともに鎌倉期ならではの、脇侍は持国天と多聞天。</p>	
43	<p>■木造香王観音像 笛吹市御坂町大野寺 2019-2 福光園寺 電話：055-265-2111（笛吹市教育委員会） 県指定文化財（彫刻） この観音像はかつて火災のとき、境内の井戸に沈めて難を逃れたといわれる。けやきの木目が鮮明に木肌に刻みこまれている。藤原初期の一木造の立像は幻想的な風格を備えている。</p>	
44	<p>■木造他阿真教上人座像 笛吹市御坂町上黒駒 2964 称願寺 電話：055-265-2111（笛吹市教育委員会） 国指定重要文化財（彫刻） 相模原市の無量光寺、広島県尾道市の常称寺と全国で三体の自刻像の一つと伝えられる写実的な作品である。全体に薄ネズミ色の法衣をまとい、穏やかな人間味豊かな容貌をしている。南北朝後期の十四世紀末の</p>	
45	<p>■称願寺の桜 笛吹市御坂町上黒駒 2964 称願寺 電話：055-265-2111（笛吹市教育委員会） 県指定文化財（天然・植物） ヤマザクラ系の園芸品種で、樹齢は400～500年と推定される。この種のサクラとしては県下まれに見る巨樹である。また花は不完全花弁花の一例として、植物形態上貴重なものである。</p>	
46	<p>■御坂隧道 笛吹市御坂町藤野木 電話：055-265-2111（笛吹市教育委員会） 国指定登録文化財（建造物） 武士、商人、職人、あらゆる人と物資が行き交い賑わいを見せた鎌倉街道は明治以降、鉄道の発達により一時その役割を失ったが、昭和6年の旧国道8号線御坂隧道開通に伴い、再び郡内と甲府盆地を結ぶ大動脈となりえた。山梨県の物流に大きな影響を与えたとして、国の登録文化財に指定された。</p>	
47	<p>■檜峰神社コノハズク確認の地 笛吹市御坂町上黒駒 檜峰神社 電話：055-265-2111（笛吹市教育委員会） 県指定文化財（天然・動物） 故中村幸雄氏により昭和10年6月12日、「ブッハウソウ」と鳴く鳥がコノハズクであることが初めて確認された地である。</p>	
48	<p>■姥塚 笛吹市御坂町井之上 941 南照院境内 電話：055-265-2111（笛吹市教育委員会） 県指定文化財（史跡） 横穴式古墳。その広大な墳丘と内部構造の巨大さは、後期古墳では東日本随一といわれている。墳丘高10m、基底周囲157m、奥壁から現存する羨道までは15.7mを計る。片袖式</p>	


笛吹市の観光資源

番号	名称と内容	その他資料
49	<p>■下黒駒の大ヒイラギ 笛吹市御坂町下黒駒85 電話：055-265-2111（笛吹市教育委員会） 県指定文化財（天然・植物） 他の同種のものとは異なり、下から枝を出すことなく、枝下4メートルまでの直幹である。ヒイラギの巨樹としては県下まれに見るものであり、雄株で幹は左巻きによじれたくましさを感じる。根廻り3.4m、幹廻り8.5m、樹高11m、枝張り東西約</p>	
50	<p>■渦文深鉢 笛吹市御坂町栗合374 御坂町農村環境改善センター 電話：055-265-2111（笛吹市教育委員会） 県指定文化財（考古資料） 御坂町農村環境改善センターに展示 桂野遺跡遺跡出土、縄文時代中期のいわゆる渦文深鉢であるが、器面を覆う渦文は原始</p>	
51	<p>■美和神社 笛吹市御坂町二之宮1450-1 電話：055-265-2111（笛吹市教育委員会） ・木造大物主神立像：国指定重要文化財（彫刻）・未公開 ・白糸威褌取鑑（残欠）：県指定重要文化財（工芸） ・朱礼紅糸素懸威胴丸佩楯付（一領）：県指定重要文化財（工芸） ・板絵著色三十六歌仙図：県指定文化財（絵画） ・美和神社の太々神楽：県指定重要文化財（無形民俗）</p>	
52	<p>■福光園寺 笛吹市御坂町大野寺2019-2 福光園寺 電話：055-265-2111（笛吹市教育委員会） ・木造吉祥天女座像と二天立像：国指定重要文化財（彫刻） ・木造香王観音像：県指定文化財（彫刻） 真言宗智山派の古い寺院。甲斐国志に保元2年、当地の領主大野対馬守を中興開基とし、賢安上人を中興開山となし、再建をほかり、山号を大野山としたとある</p>	
53	<p>■称願寺 笛吹市御坂町上黒駒2964 電話：055-265-2111（笛吹市教育委員会） ・木造他阿真教上人座像：国指定重要文化財（彫刻） ・称願寺の桜：県指定文化財（天然・植物） 正応5年（1292）黒駒讃岐守の開基、真教上人の開山で鎌倉街道の要所。黒駒の開創</p>	
54	<p>■檜峰神社 笛吹市御坂町上黒駒 電話：055-265-2111（笛吹市教育委員会） 文化財 コノハズク確認の地 県指定文化財（天然・動物） 釈迦ヶ岳の頂上に山宮があり、麓に檜峰神社本殿、拝殿、社務所がある。江戸時代、神座山薬王権現と称した。明治の初に檜峰神社となる祭神は少名彦命。「ブッホウソウ」と鳴く鳥がコノハズクであることが初</p>	


笛吹市の観光資源

番号	名称と内容	その他資料
55	<p>■佐久神社本殿 笛吹市石和町河内80 電話：055-265-2111（笛吹市教育委員会） 縁起に「往古甲斐一面湖水なりし時、岩裂・根裂の2神が相謀りて水路を開き岩石を除いてこの国を開裂せり。（中略）左右に岩裂・根裂の2神配祀し佐久神社と称せり」とあり、延喜7年(907年)延喜式神名帳に式内20座の社格に列せられた。本殿は文久2年(1862年)の改築で江戸末期の神社建築の特色を表す。県指定文化財構造物。</p>	
56	<p>■八田家書院、八田家御朱印屋敷 笛吹市石和町八田334 電話：055-265-2111（笛吹市教育委員会） 石和の歴史と風土をモチーフとした公園には、県指定文化財の八田家書院と八田家御朱印屋敷が隣接する。八田家書院は、武田家家臣の八田家の屋敷を、徳川家康より拝領した用材によって再構築した茅葺き入母屋造りの武家書院。</p>	
57	<p>■絹本著色仏涅槃図 笛吹市石和町松本610 松本山大蔵経寺所蔵 電話：055-265-2111（笛吹市教育委員会） 大蔵経寺は真言宗智山派の智積院末で行基の開創と言われ、甲斐真言宗七壇林の一つ。206×145cmで国指定重要文化財。釈迦が涅槃に至らんとする図。駿河の国宝雲山浄古禅寺の本尊として描かれたと裏書され、後天正15年(1587年)に浄古禅寺から譲り受けたことが寺伝より見ることができる。</p>	
58	<p>■岡の式三番叟 笛吹市八代町岡 岡式三番叟保存会 電話：055-265-2111（笛吹市教育委員会） 開館時間 1月14日小正月に上演 山梨県指定無形文化財 町の岡区上組に江戸中期から伝承されていて、幽玄な舞と謡からなる芸能で、道祖神祭に演じられ五穀豊饒・養蚕の豊作・災難防除・疫病の魔よけなどが祈願された。</p>	
59	<p>■菱雲文帯半円方形四乳鏡 笛吹市八代町北 熊野神社内 電話：055-265-2111（笛吹市教育委員会） 山梨県工芸文化財指定 八代町北の熊野神社内収蔵の直径10,8cmの鏡で、明治22年菱雲文帯半円方形四乳鏡と名づけられたこの鏡は団栗塚古墳の堅穴式石室から発掘された。塚はもともとは前方後円墳であったといわれ、石室内部は朱が塗られ、石室は二室。鏡は技術的にも優れたもので考古学上貴重な遺品である。</p>	
60	<p>■銚子塚古墳 笛吹市八代町岡 ふるさと公園内 電話：055-265-2111（笛吹市教育委員会） 山梨県指定史跡文化財 八代町岡のふるさと公園内にあり町内最大規模をもつ前方後円墳で全長92m。前方部は北東を向いていて遺体を納めた主体部は粘土によって造られていた。現在は整備され、公園からの眺望が素晴らしい。</p>	

笛吹市の観光資源

番号	名称と内容	その他資料
61	<p>■御崎古墳出土品362点 笛吹市八代町南796 八代町郷土館 電話：055-265-2111（笛吹市教育委員会） 開館時間 日・火・木・土曜日・祭日 午前9時～午後4時 休館日 月・水・金・日曜日 12月24日～1月4日 八代町竹居御崎地区で農作業中偶然出土した、御崎古墳の金銅製毛彫り馬具やガラス玉等古墳の貴重な副葬品の数々。</p>	
62	<p>■竜塚古墳 笛吹市八代町米倉竜安寺山地内 電話：055-265-4011（教育委員会社会教育課内） 山梨県指定史跡文化財 八代町米倉地内、竜安寺山丘陵上部に位置する。5世紀前半に作られた方墳で真上から見ると四角い形をしためずらしい古墳。又1辺が56mと全国の方墳の中でも大きな部類に入る。</p>	
63	<p>■木造如来形坐像及び塑像残欠 笛吹市八代町永井1543 電話：055-265-4011（教育委員会社会教育課内） 山梨県指定文化財（彫刻） 八代町永井地内、瑜伽寺客殿に安置され古くから「お大日ちゃん」と呼ばれ、広く近郷の人々から親しまれてきた。檜材の1本造りで平安時代の中頃に作られた漆箔等身坐像で、その穏やかな表情は、見る者に安らぎを与えてくれる古風なたたずまいの如来形坐像である。</p>	
64	<p>■木造十二神将立像 笛吹市八代町永井1543 電話：055-265-4011（教育委員会社会教育課内） 山梨県指定文化財（彫刻） 八代町永井地内、瑜伽寺に安置され正しくは薬師十二神将といい、全ての苦難を取り除き願いを成就させる昼夜十二時の護法神である。頭上には十二支の冠を戴き、その標示としている。鎌倉時代の技法を今に伝える。</p>	
65	<p>■絹本着色熊野曼荼羅附桐箱 笛吹市八代町北1615 電話：055-265-2111（笛吹市教育委員会） 山梨県指定文化財（絵画） 八代町北熊野神社所蔵の古仏画で室町期のものである。 熊野神社は町内第一の大社で南北両八代の鎮守である。</p>	
66	<p>■浅間神社 笛吹市一宮町一ノ宮1684 電話：0553-47-0900（浅間神社） 甲斐国一の宮で、11代垂仁天皇8年に神山の麓に鎮座したのが始まり。現在地には貞観7年（865）に移された県内では最も古い神社の一つである。毎年多くの人々が参拝に訪れる。境内の夫婦梅は一花の中に二つの果実を結ぶことからこの名が付き、県天然記念物に指定されている。</p>	

笛吹市の観光資源

番号	名称と内容	その他資料
67	<p>■藤壘の滝 新羅三郎義光の開基と伝えられる芹沢不動尊の御堂の前にあり、同地内の不動林の中でわき出した泉が、八すじ、高さ1mほどの滝を作っている。不動尊と滝を含めて周辺の約二万五千平方メートルを自然公園として整備し、駐車場、遊歩道やあずまやなどを設置。また、園内には千本以上のケヤキやカエデ、クヌギなどを植樹し、滝の水路にはミズバショウも植栽。園内整備に合わせて公園西側の河川も整備され、古くから「癒しの杜（いやしのもり）」として、村内外から大勢の人が訪れてきたこの場所が、装いを新たにした。 藤壘の滝の特色は、水温が年間を通して、常に12度を保つ霊水で、真夏でも滝壺の中に「5分」と足を入れて置けないくらい冷たい。</p>	
<祭り・イベント>		
01	<p>■細野厄地蔵 開催日程：2/13</p>	
02	<p>■松本のお天狗さん 開催日程：2/21</p>	
03	<p>■八代の三日市 開催日程：3月中旬</p>	
04	<p>■永井天神社の神楽 開催日程：4/2～3</p>	
05	<p>■大石寺の火渡り 開催日程：4/3</p>	
06	<p>■山梨岡神社祭典 開催日程：4月4・5</p>	
07	<p>■笈形焼き 4月第1週の春日居温泉祭りに合わせて、御室山に笈（おい）形の幻想的な炎が浮かび上がる。 開催日程：4月第一日曜日</p>	
08	<p>■美和神社春の例大祭 開催日程：4月第一日曜日</p>	
09	<p>■春日居温泉まつり 開催日程：4月第一日曜日</p>	
10	<p>■桃の花まつり 桃の開花に合わせて市内各地で盛大に催される春の一大イベント。ハイライト「川中島合戦戦国絵巻」は武田信玄と上杉謙信の一騎打ちが、笛吹川河川敷に再現される。 開催日程：4月上旬～中旬</p>	
11	<p>■桃の里マラソン大会 全国から集まった4,000人を超えるランナーが、桃の花のトンネルの中を走り、健脚を競う。 開催日程：4月中旬</p>	

笛吹市の観光資源

番号	名称と内容	その他資料
12	<p>■御幸祭り 古くから「おみゆきさん」と親しまれてきた、一宮浅間神社春一番の祭典である。江戸時代には長い行列で、信玄堤まで神輿をかついで行った。 開催日程：4/15</p>	
13	<p>■金刀比羅神社春の例大祭 開催日程：4月第二土曜日</p>	
14	<p>■石和温泉鶺鴒まつり 夏の風物詩、笛吹川の「鶺鴒」は、鶺鴒が川に入り鶺をあやつる「徒歩鶺」といわれる独特の漁法である。 開催日程：海の日～8/19</p>	
15	<p>■大文字焼き 遠く江戸時代、峡東地方で行われていた甲斐の四大火祭の一つで、真夏の夜を鮮やかな炎で彩る。 開催日程：8/16</p>	
16	<p>■石和温泉まつり 三日間にわたるまつりのクライマックスは花火大会。色とりどりの大輪の花が夜空を華やかに彩り、ゆく夏を惜しむ。 開催日程：8/19～21</p>	
17	<p>■下黒駒の石尊まつり 開催日程：8/23</p>	
18	<p>■峰城山天満宮天神祭 開催日程：8/24・25</p>	
19	<p>■長崎のかかし祭り 開催日程：8月下旬</p>	
20	<p>■双子塚祭典 開催日程：10/9・10</p>	
21	<p>■晴雲寺の星まつり 開催日程：12月冬至</p>	
＜果実と花＞		
01	<p>■いちご 時期：12月上旬～5月上旬</p>	
02	<p>■スモモの花 時期：3月下旬～4月中旬</p>	
03	<p>■サクラ 時期：3月下旬～4月中旬</p>	
04	<p>■ももの花 時期：4月上旬～4月下旬</p>	
05	<p>■藤壺の滝ミズバショウ 時期：4月下旬～5月上旬</p>	
06	<p>■ハウス桃 時期：4月中旬～6月上旬</p>	
07	<p>■バラ 時期：4月下旬～6月上旬</p>	
08	<p>■白鳳（もも） 時期：6月中旬～7月下旬</p>	
09	<p>■スモモ 時期：7月上旬～7月下旬</p>	
10	<p>■白桃（もも） 時期：7月上旬～8月下旬</p>	

笛吹市の観光資源

番号	名称と内容	その他資料
11	■デラウェア（ぶどう） 時期：7月上旬～8月中旬	
12	■巨峰（ぶどう） 時期：8月上旬～9月下旬	
13	■ピオーネ（ぶどう） 時期：8月下旬～9月下旬	
14	■ロザリオ（ぶどう） 時期：9月上旬～9月下旬	
15	■甲斐路（ぶどう） 時期：9月上旬～10月下旬	
16	■甲州（ぶどう） 時期：9月中旬～10月下旬	
17	■柿 時期：9月下旬～11月上旬	
18	■菊 時期：10月中旬～11月下旬	
<公園・施設>		
01	■稲山ケヤキの森 絶好の森林浴の場所。小鳥のさえずりや足元に咲く愛らしい野の花との出会いを楽しみながら、心も体もリフレッシュ。	
02	■みさか桃源郷公園 眼下に広がる甲府盆地や南アルプスの山々を一望でき、芝生の広場、親水広場、児童広場やジョギングもできる散策路などが整備されている。	
03	■ふるさと公園 桜の名所としても知られ、春には300本の桜が咲き競う。古墳を中心に広がる古代の息吹にふれるスポット。	
04	■釈迦堂遺跡博物館 釈迦堂パーキングエリアに隣接した博物館には、復元された土器、土偶、石器類や、縄文時代の暮らしの様子が展示されている。	
05	■森林公園金川の森 自然林を生かした公園には、アスレチック遊具やスポーツ広場などが設置され、家族連れで楽しむことができる。	
06	■御坂路さくら公園	
07	■八田御朱印公園	
08	■青楓美術館	
09	■石和写真美術館	
10	■モルヘス美術館	
11	■山梨伝統産業会館	
<名所・スポーツ・レジャー>		
01	■藤壘の滝 林の中に湧き出した水が1mほどの高さから流れ下る藤壘の滝。周辺は四季折々の自然が美しい公園である。	
02	■兜山ハイキングコース	
03	■大蔵経寺山コース	
04	■大久保山・峰城山コース	
05	■茶白山コース	
06	■ナットウ箱山・達沢山コース	
07	■稲山・四ツ沢コース	
08	■大栃山・神座山コース	
09	■釈迦ヶ岳・黒岳コース	
10	■御坂峠コース	
11	■笛吹川鮎釣り 鵜飼でも有名な笛吹川。毎年6月中旬の鮎の解禁日を迎えると、待ちかねた多くの釣り人で賑わう。	

笛吹市の観光資源

番号	名称と内容	その他資料
12	■リオスフィッシュパーク	
13	■嵐山釣り堀	
14	■カムイみさかスキー場	
15	■黒坂オートキャンプ場	
16	■国際乗馬クラブ	
17	■加賀美アーチェリー	
18	■春日居ゴルフ倶楽部	
19	■甲府国際カントリークラブ	
20	■ウッドストックカントリークラブ	
21	■みさかグリーンパークパターゴルフ場	